学校番号	１０１５

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新簿記　（実教出版）						
副教材等	反復式　学習と検定　簿記問題集　全商３級 改訂版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

簿記に関する知識と技術を習得させ，その基本的な仕組みについて理解させるとともに，適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

2　学習の到達目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，ビジネスの意義や役割について理解させるとともに，ビジネスの諸活動を主体的，合理的に，かつ倫理観をもって行い，経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	個人企業における簿記に関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けているか。	各取引におけるいろいろな記帳についての解決を目指して思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けているか。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け，ビジネスの諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用しているか。	個人企業における簿記に関する基礎的･基本的な知識を身に付け,簿記の基本的な仕組みについて理解できたか。
評価方法	学習状況の観察 問題集の記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 問題集の記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 問題集の記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など	学習状況の観察 問題集の記述 授業への参加状況 定期考査の結果 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(4月)	簿記の基礎	・記帳の基礎となる簿記の基本的なしくみを学ぶ。 ・簿記の意味，目的，歴史などの簿記の基本的内容を学ぶ。 ・資産，負債，資本の意味及び貸借対照表の作成とその技法について学ぶ。 ・収益，費用の意味及び損益計算書とその技法について学ぶ。	○		○ ○ ○	○ ○ ○	a 簿記の基本的なしくみについての関心が高まった（行動観察）。 d 簿記の意味，目的，歴史について理解した(プリント）。 c 資産，負債，資本の意味を理解し，正しく貸借対照表を作成できた(ワークシート）。 c 収益，費用の意味を理解し，正しく損益計算書を作成できた（ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査
前期(5月)	簿記の基礎	・取引と勘定の概要，及び取引の分解と勘定記入について学ぶ。 ・取引の仕訳及び転記の方法とその手順について学ぶ。 ・仕訳帳への記入及び総勘定元帳への転記について学ぶ。 ・試算表の意義とその作成方法について学ぶ。		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	c 取引の分解と勘定記入を正しく行えた(ワークシート）。 c 適切に仕訳を行い，正しく転記ができた(ワークシート）。 d 仕訳帳の記入及び総勘定元帳への転記方法を理解し，正しく行えた（ワークシート）。 b 試算表の意義について理解し，三種類の試算表を正しく作成できた（ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査

前期（6月～7月）	取引の記帳	・精算表の役割と複式簿記のしくみについて学ぶ。 ・決算の意味及びその必要性，また，決算手続き全体の流れについて学ぶ。 ・基本的な取引の記帳方法について学ぶ。 ・現金，当座預金，当座借越，小口現金などの取引と，現金出納帳，当座預金出納帳，小口現金出納帳などそれらに関する帳票の記帳方法について学ぶ。 ・分記法と３分法との違い及び３分法の記帳方法を学ぶ。 ・仕入帳，売上帳，商品有高帳の記帳方法及び商品売買損益と売上原価の計算方法について学ぶ。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	d 精算表の役割を理解し，正しく作成できた（ワークシート）。 b 決算手続き全体の流れについて理解し，正しい手順で決算手続き及び報告ができた（小テスト，ワークシート）。 a 基本的な取引の記帳についての関心が高まり，意欲的に授業に参加した（行動観察）。 c 現金，預金の取引について適切な仕訳を行い，関連する各種帳票に正しく記帳ができた（小テスト，ワークシート）。 d ３分法の特徴を理解し，正しく仕訳を行えた（小テスト）。 c 商品売買の取引について適切な仕訳を行い，関連する各種帳票に正しく記帳ができた（小テスト，ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査
前期（9月）	取引の記帳	・売掛金元帳，買掛金元帳の記帳方法について学ぶ。 ・約束手形，為替手形のしくみについて学ぶ。 ・有価証券のしくみとその取引の仕訳について学ぶ。		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	c 売掛金元帳，買掛金元帳に正しく記帳できた（ワークシート）。 b 手形記入帳の意義を理解し，正しく記帳できた（ワークシート）。 d 有価証券の買い入れと売却したときの記帳ができた（小テスト）。	授業観察 問題集提出 定期考査

後期（10月）	取引の記帳	・前払金と前受金，仮払金と仮受金等，債権と債務の関係について学ぶ。 ・固定資産の意味と種類について学ぶ。 ・追加元入れ，引出金とその仕訳について学ぶ。 ・販売費及び一般管理費の意味と記帳方法について学ぶ。 ・個人企業に課せられる税金の記帳方法について学ぶ。		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	c 各種の債権と債務について特徴を理解し，正しく記帳ができた（プリント，ワークシート）。 b 固定資産に関する記帳について正しく行えた（ワークシート）。 c 追加元入れと引出金について理解し，引出金勘定を用いた記帳が行えた（ワークシート）。 d 販売費及び一般管理費に関する記帳ができた（ワークシート）。 d 個人企業に課せられる税金の記帳ができた（ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査
後期（11月）	決算	・決算整理の意味とその必要性について学ぶ。 ・各決算整理事項の仕訳について学ぶ。 ・８桁精算表がどのように機能しているかを学ぶ。 ・損益計算書，貸借対照表の作成と会計情報の重要性について学ぶ。	○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a 決算整理に関する手続きについて関心が高まり，意欲的に授業に参加した（行動観察）。 c 各決算整理事項の仕訳ができた（プリント，ワークシート）。 d ８桁精算表を正しく作成できた（プリント，ワークシート）。 b 会計情報の重要性について理解し，損益計算書，貸借対照表を正しく作成できた（ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査

後期（12月）	決算	・各帳簿の締め切りの方法について学ぶ。 ・分課制度と帳簿組織との関連について学ぶ。 ・３伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールについて学ぶ。 ・収益，費用の繰り延べと見越しの意味と記帳方法について学ぶ。 ・減価償却の間接法，有価証券の評価替えについて学ぶ。 ・財務諸表の作成方法について学ぶ。	○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a 各帳簿を締め切りについて，関心が高まり，意欲的に授業に参加した（行動観察）。 b 今までに学んだ帳簿を正しく分類できた（ワークシート）。 c ３伝票を用いた場合の起票や集計が正しくできた（小テスト）。 d 収益，費用の繰り延べと見越しの処理ができた（小テスト）。 c 減価償却の間接法，有価証券の評価替えを行えた（小テスト）。 d 財務諸表を正しく作成できた（ワークシート，小テスト）。	授業観察 問題集提出 定期考査
後期（1月）	決算	特殊な取引の記帳方法について学ぶ。 ・特殊な売買取引の意味と処理の仕方について学ぶ。 ・特殊な手形の取引について学ぶ。	○	 ○ ○			a 特殊な取引の記帳についての関心が高まった（行動観察）。 b 特殊な売買取引におけるその特徴を理解し，正しく処理できた（プリント，ワークシート）。 b 特殊な手形の取引に関するその特徴を理解し，正しく処理できた（プリント，ワークシート）。	授業観察 問題集提出 定期考査
後期（2月）	決算	・仕訳帳の分割の意味とその長所について学ぶ。 ・仕訳帳の分割について，その記帳の技術を学ぶ。 ・５伝票による起票や集計，転記の方法について学ぶ。	○	 ○ ○	 ○ ○		a 記帳の合理化について，関心が高まった（行動観察）。 b 仕訳帳の分割について，正しく記帳が行えた（ワークシート）。 c ５伝票による起票や集計，転記を正しく行えた（プリント，ワークシート，小テスト）。	授業観察 問題集提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。